

新しい公共支援事業の成果等報告
(業務を受託した中間支援組織等分)

1. 成果等報告

受託業務名	[提案方式導入] 新しい公共推進指針 (仮称) 策定事業
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 活動基盤整備支援 <input type="checkbox"/> 寄附募集支援 <input type="checkbox"/> 融資円滑化支援 <input type="checkbox"/> 利子補給 <input type="checkbox"/> その他 (複数回答可)
受託者名	特定非営利活動法人みえNPOネットワークセンター
実施期間	平成23年10月1日～平成24年3月31日
受託金額	3,849,000円
受託内容	<p>全県の指針策定をマルチステークホルダー・プロセスで実施する体制を整備 (NPO、自治会、企業、行政、大学等) するとともに、県内を8地域に分けて、各地域内でマルチステークホルダー・プロセスによる地域円卓会議を実施し、その話し合い内容を全県指針作成に活かしていく。</p> <p>■ 平成23年度に達成しようとする成果を具体的に記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域レベルの多様な主体による「新しい公共」の理解促進とネットワークの機運の醸成 2 全県レベルの多様な主体による「新しい公共」の理解促進とネットワークの機運の醸成 3 NPOと地縁団体との連携による力強い市民セクター形成への理解の促進 4 全県的なNPOネットワーク体制づくりの着手と県全域におけるNPOの顕在化 5 地域の実情と課題を踏まえた、新しい公共推進指針年度末報告
得られた成果及び自己評価	<p>※ 支援の効果、今後の展望等のアウトカムとともに、自己評価を記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県下8カ所で、各地域の実情に応じた多様な主体による地域円卓会議を行い、これまでなかった地域レベルの多様な主体のネットワークの機運が高まった。 2 新しい公共推進指針策定委員会の委員交渉に当初予定を大幅に超える時間がかかったものの、これまでなかった多様なセクターで構成される委員会を立ち上げることができた。また、地域円卓会議で得られた意見をベースに、「新しい公共」の基本に関わる意見交換を行うことができた。 3 各地域円卓会議及び推進指針策定委員会において、NPOと自治会とが共通課題を話し合う場ができ、今後の連携を促進させる足がかりとなった。 4 8地域で地域円卓会議を行ったことで、各地域内のNPO相互の連携の契機となった。また3月に予定している県版円卓会議を実施することで、全県的なNPOの連携促進を図る予定である。 5 県下8地域の実情に沿った「新しい公共」をめぐる有益な意見が多数得られた(別添資料参照)。これに基づき、推進指針の策定に向けて策定委員会の議論が始まった。 <p>■改善点</p>

	<p>1 当初予定していた骨子案については、県からの指示により進捗状況の報告書に代えたことに伴い、第2回地域円卓会議では、第1回地域円卓会議及び策定委員会の議論に基づく「新しい公共」の基本的な課題について議論する。</p> <p>2 策定委員会の委員のスケジュール調整の困難さから開催回数を1回減らし、その代り新しい公共の基本的な課題について、納得できる議論を行うこととする。</p>
評価リンク	<p><input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価に○を付けてください。)</p>

2. 添付書類 委員名簿

その他参考となる書類 なし ※ 都道府県において適宜設定すること。